



## 来週の投資戦略（8/10-14）

### 決算と米国消費者物価に注目

2026年8月9日

小松 徹

#### 注目事項 ― 見所

企業決算 ― 東京海上ホールディングス（8766）、アシックス（7936）など。

8月10日、前日の日銀金融政策決定会合の主な意見 ― 利上げ議論の熱は？

8月12日、7月の米国消費者物価指数 ― 前年比+3.4%、コア+2.5%？

8月14日、7月の米國小売売上高 ― 前月比+0.2%？

#### 株式市場見通し

先週は好決算の発表が多く、株価指数では日経225とTOPIXがそれぞれ1.9%、1.8%上昇した。ザラ場中に発表された決算で大きく上昇した銘柄を挙げると、月曜日のいすゞ自動車（7202）、火曜日のヤマハ発動機（7272）、木曜日の古河電気工業（5801）、金曜日のフジクラ（5803）など。トヨタ自動車（7203）が業績予想の上方修正と自社株買いを発表しても株価は好転しなかった。7日までに発表されたプライム上場企業のうち、167社が上方修正し、下方修正は11社しかなかった。プライム上場企業の今年度一株当たり利益（EPS）が前年度比12.4%増と会社公表値から試算される。

来週のが国の企業決算は月曜日の住友金属鉱山（5713）、東京計器（7721）、水曜日の東京海上ホールディングス、木曜日のすかいらーくホールディングス（3197）、トレンドマイクロ（4704）、金曜日のアサヒグループホールディングス（2502）、アシックス、荏原製作所（6361）など。このうち、東京海上は今年前半に自社株買いの公開買い付け、米パークシャーとの戦略的業務提携を発表し、株価は大きく反応したが、決算では前年水準がかなり高いのでどの程度に落ち着くか。アシックスは15四半期連続高成長なので、4-6月期営業増益がアナリスト予想27%増でも好感されないかもしれない。荏原の事業は幅広いが、投資家の注目は半導体事業に集中し過ぎている。1-3月期の同部門の受注が前年比2倍になったので、そこまでは望めないだろう。

さて、7月最終週も市場が日々大きく変動したが、個人投資家も海外投資家も現物市場では売り越した。ただ、海外投資家は先物市場では現物をやや上回る買い越し額となっており、中長期投資家の行動とは違っていた。さらに先物市場では海外投資家はTOPIXを多めに買っていたことが注目される。

最後に米国の経済指標と金融政策について。7日発表の7月の雇用統計はエコノミスト予想を大きく下回った。前月比2.5万人減（予想は8.5万人増）となったばかりか、5・6月の増加幅も公表値から10万人下回った。これで、インフレ対応の利上げ期待がやや後退、米ドル金利はやや低下、米ドルもやや弱くなった。市場関係者は12日発表の7月の米国消費者物価指数に注目している。前年比の予想は上述のとおりで、これらは前月比では+0.1%、+0.2%。前月比のプラスが大きくなれば、金融当局はやはりインフレ対応を迫られるだろう。ただ、ウォーシュFRB議長は曖昧戦略を取っているうえ、トランプ大統領からの電話を何度も受けていると聞く。不透明感が強まるか。

#### KPAの投資戦略

| ロング（買い）       | ショート（売り）      |
|---------------|---------------|
| 好財務の割安株、今期増益株 | 高PB低位株、高PE新興株 |

（注）ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



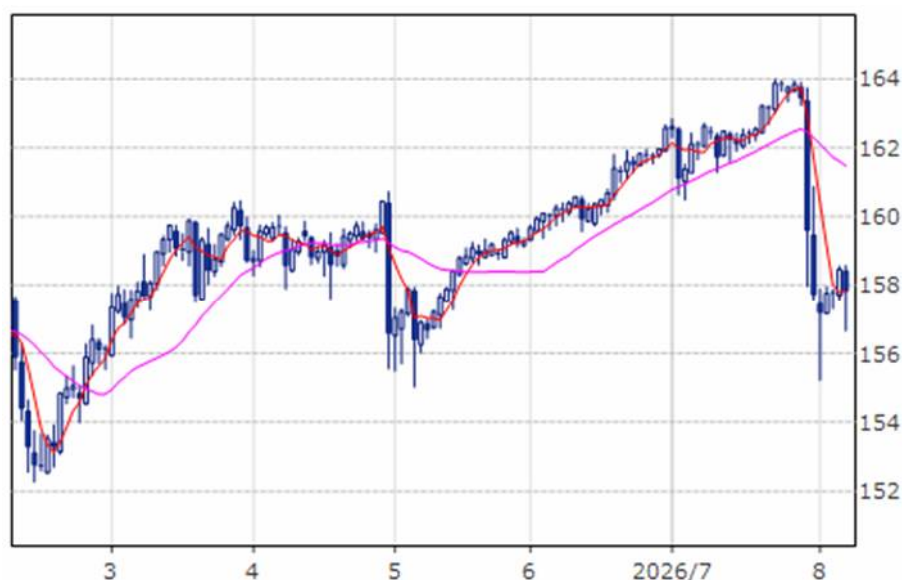
日経225



TOPIX



## 米ドル・円相場



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPA 役員あるいは KPA のお客様はアシックス、フジクラ、荏原製作所を保有しています。

©2000－2026 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.